

ハイボン30マスティックプライマーE

シリコン変性エポキシ樹脂下塗り塗料

3-00003EAG-00-01
日本ペイント株式会社
製品使用説明書

□ 特 長

- ・厚膜塗装が可能です。
- ・耐水性、耐油性、耐薬品性にすぐれています。

□ 塗 料 性 状

		塗料液		硬化剤		
色		グレー色		無色		
密度(g/cm ³)(23℃)		1.41 (混合塗料)1.53(塗料液)0.93(硬化剤))				
光 沢		半つや				
引 火 点		4℃		4℃		
発 火 点		272℃ (参考値)		300℃ (参考値)		
消防法 表 示	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料		合成樹脂クリヤー塗料		
	危険物区分	第4類 第1石油類(非水溶性)		第4類 第1石油類(非水溶性)		
	危険物等級	II (火気厳禁)		II (火気厳禁)		
有 機 溶 剤 区 分		第2種		第2種		
毒 劇 物 表 示		—		—		
有 害 物 表 示		エチルベンゼン		メチルイソブチルケトン 変性脂肪族ポリアミン		
国 連/指 針 番 号		1263/128		1866/128		
環 境 性 能	クロル ^リ リス	配合せず	ホルムアルデヒド ^ト	配合せず	トルエン	18.8%
	キシレン	4.6%	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	1.3%
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラメチル	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアゾノ	配合せず	アセトアルデヒド ^ト	配合せず
	フェノールカルブ ^ブ	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		32.9%				

- ・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- ・加熱残分(%)：65 (混合塗料)：70 (塗料液)：20 (硬化剤)

□ 塗 装 基 準
下 地 調 整：

- ・ブラスト処理(ISO Sa2 1/2以上)後、直接塗装することもできます。
- ・ブラスト処理後、ジンクリッチプライマー(ニッペジンキー8000メタルグレーまたはニッペジンキー1000Pなど)を塗装した上に塗装することができます。

混 合：
希 釈 剤：
希 釈 率：
塗 装 方 法：

2液形のため、「塗料液：硬化剤=90：10(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
20kgセット(塗料液：硬化剤=18kg：2kg)
4時間(23℃)
ハイボンE^ポキシシーター

塗 装 方 法	はけ、ローラー塗り	エアレススプレー塗り
希 釈 率	0~5%	0~10%
使 用 量	0.17kg/m ² /回	0.40kg/m ² /回
膜 厚 (ドライ)	40μm	80μm
膜 厚 (ウェット)	125μm	250μm

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ・一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-617、619など

エアレス条件：
乾 燥 時 間：

	5℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	2時間	1時間	30分
塗 り 重 ね 乾 燥 1	24時間以上6ヶ月以内	16時間以上6ヶ月以内	16時間以上6ヶ月以内
ハイボン30マスティック中塗			
ハイボン30マスティックプライマー			
塗 り 重 ね 乾 燥 2	24時間以上10日以内	16時間以上7日以内	16時間以上7日以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 注 意 事 項

- ・乾燥は低温時において著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので5℃以下の気温が連続する場合、施工しないでください。
 - ・密閉場所では換気を十分に行い、溶剤許容濃度以下で作業してください。乾燥中も換気してください。
 - ・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。